

11/11

渡部増次さんに県知事賞 第16回菊花展表彰式



県知事賞受賞の渡部増次さん

国団体」を契機に開催された菊花展も今年で16回目。立菊・ダブルマ・福助など約200鉢を展示して県下有数の菊花展として親しまれています。

市役所前駐車場で開催されていた第16回菊花展（主催〓小松島市菊友会・小松島市）の表彰式が11月11日、市役所で行われました。

平成5年に開催された「東四

表彰を受けられた方は、次の方々です。（敬称略）

- 〔立菊12鉢組花壇〕▼優勝・県知事賞〓渡部増次、▼準優勝・市長賞〓福本茂二、▼優等1席・県議会議長賞〓高倉千代子、〔総合花壇〕▼優等2席・市議會議長賞〓川田恒夫、〔立菊12鉢組花壇〕▼優等3席・市教育長賞〓宮岡久美子、▼優等4席〓富永重雄、〔ダブルマ3鉢組花壇〕▼優勝〓須崎寿夫、▼準優勝〓野村京子、▼優等〓川田月子、▼優等〓渡部房子、〔福助5鉢組花壇〕▼優勝〓渡部増次、▼準優勝〓宮岡久美子、▼優等〓渡部房子、〔単鉢（赤）〕▼優勝〓渡部増次、〔白〕▼優勝〓須崎寿夫、〔黄〕▼優勝〓福本茂二、〔立菊6鉢組花壇〕▼優勝〓喜多操子

11/17

安全・安心・信頼のこまつしま 第五次総合計画の審議結果を答申

小松島市基本構想等審議会（松村豊大会長〓徳島文理大学大学院総合政策研究科教授）が11月17日、小松島市第五次総合計画の審議結果を、稲田市長に答申しました。

平成22年3月末までを計画期間とする現行の総合計画が、急速な社会状況の変化に合わなくなったことを受け、市では2年前倒しで、平成21年度を初年度とした今後8年間の市政の基本

となる新たな総合計画を策定することになりました。

今年8月に設置した審議会委員には市の各分野の方21名に就任いただき、これまで3ヶ月間、7回にわたる審議を経て、今回の答申となりました。

今後は、この答申をもとに、成案をまとめ、市議会12月定例会へ議案として、提出される予定です。



稲田市長に答申書を手渡す松村会長（左）

11/15

まちな元気は人の元気 『たぬき』をキーワードに まちづくり

徳島新聞社移動編集局・小松島市イベントとして11月15日、『金長たぬきを語る』が小松島市総合福祉センターで開かれ、約300人が参加しました。

最初に『たぬき文化とまちづくり』と題して、大平正道さん（しがらき狸学会会長）が講演され、『日本各地には様々な狸の話が伝わっている。日本特有の狸表現は、時には人々をなごませ、時には狸の姿で時代や時事を風刺する動物として人間社会を映し出す鏡である』など狸の魅力を説明しました。

また、信楽でのまちづくり活動として『たぬきフォーラム』『たぬきアート展』『たぬき人間コンテスト』を開催した経緯を紹介。「金長たぬきは、信楽たぬきよりも歴史と伝統という重みがある」として「みんなで狸をキーワードにしてまちづくりを頑張りたい。欲しい。もしも、失敗した時は狸にばかされたら笑い飛ばそう」と呼びかけました。

そして「まちづくりは、まちが元気になるのではなく、そこに住む人が元気になることこそが必要」として「まちづくりは、色々な特色を持った人が集まり



「しがらき狸です」と自己紹介する大平さん

共存し、物語をつくって行く、コラボレーションとストーリーが大事。まちな元気は人の元気」と締めくくりました。

休憩の後、市民講師の竹内明彦さん（小松島市語り部協会）御伽衆（おとぎしゅう）代表）が、民話『阿波の狸合戦』の語りを行いました。

竹内さんは、素人とは思えないほど、語りあり、歌あり、笑いありの見事な話術で、張り扇や高座扇を使い臨場感あふれる講談を披露。来場者は息つく間もないほど引き込まれました。

最後に、小松島創作太鼓振興会による『金長太鼓』が披露され、大きな拍手の中、イベントは終了しました。